

3月11日東日本大震災、福島原発事故、集中豪雨による新潟水害など天変地異が次々と発生しています。直後の騒然とした現場ではわれわれができる仕事は限られています。しかし、ライフライン復旧後であれば、被災者の健康管理につながる各種検査の実施など臨床検査技師ならではの貢献があります。医療従事者の一員として臨床検査技師がどのような貢献ができるのか、この際よく考える必要があります。

さて今月の検査と技術は？“病気のはなし”と“技術講座”で子宮頸癌に関することが取り上げられています。癌は日本人の死因のトップであり、子宮頸癌は女性の癌の5位にあげられています。子宮頸癌は検診とヒトパピローマウイルスワクチンを接種することで予防ができるため、厚生労働省でも啓蒙活動に力を入れています。子宮頸癌の細胞診判定に用いられているベセスダシステムは2001年に改訂が行われました。この分類をもとにグレーゾーンであるASC-USとASC-Hの現状と問題点についてまとめていただいていますのでご一読ください。

“Laboratory Practice”では、尿沈渣検査における付加価値情報提供の実践と意義について、東京大学医学部附属病院での取り組みが紹介されています。システム化による画一的な結果報告だけでなく、詳細な検査情報をフィードバックすることの重要性が述べられています。近年、診断群医療費定額支払い方式(DPC)を導入する施設の増加に伴い、従来型の診療形態の無駄を軽減し、効率的かつ質の高い医療が求められています。また本号では、岸和田市民病院のクリニカルパスの運用と導入の効果が紹介されています。医療スタッフの一員として臨床検査技師もチーム医療に参加することが求められます。他施設での取り組みも参考にして、よりよいクリニカルパスを構築してください。

*8月20日、大東文化大学の伊藤機一先生がご逝去されました。尿の臨床検査の第一人者として標準化などにご尽力されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

(伊瀬恵子)

病気のはなし

皮膚の悪性リンパ腫 ————— 濱田利久
技術講座

病理：髄液の細胞学的検査 ————— 小松京子
病理：Her 2 検査の精度管理 ————— 増田しのぶ
疾患と検査値の推移

妊娠高血圧症候群 ————— 梁 善光
オビニオン

日本乳腺甲状腺超音波診断会議

JABTS の実力評価試験 ————— 白井秀明
ワンポイントアドバイス

透析のシャント部を上手く描出するには — 富田則明
Laboratory Practice

生理：下大静脈の計測法 ————— 種村 正
病理：新しい組織アレイ作製方法、スパイラル

アレイの病理部門への応用 ————— 堀 隆, 他
生理：心室中部閉塞性肥大型心筋症を心エコーで

診る ————— 沖野久美子
移植医療：移植医療と検査③生体腎移植時の

ドナーの検査および評価(イヌリンクリアランス
を中心に) ————— 角田洋一, 他

臨床医からの質問に答える

透析患者の肝機能(AST, ALT)の評価 — 桑 克彦

今月の表紙/ラボクイズ/臨床検査のピットフォール/
トピックス/けんさ外国語会話/コーヒーブレイク/他

ラボクイズ正解者

第39巻8号(2011年8月号)

栗原正美(横須賀市)/高橋久志(東京都大田区)/森智子(宮崎市)

●編集委員

菅野 治重

(編集主幹)

伊瀬 恵子

曾根 伸治

高木 康

種村 正

手島 伸一

矢富 裕

山内 一由

(五十音順)

検査と技術

2011年10月1日発行(毎月1日発行)

定価1,470円(本体1,400円+税5%)

2011 年間購読料(送料弊社負担、税込、増刊号を含む13冊)

冊子のみ 21,860円 冊子+電子版 28,400円

電子版/個人 21,860円 電子版/共有 25,140円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

☎113-8719

東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5713

ファクシミリ (03)3815-7802/(03)3815-7982

E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kensa/

販売部直通 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷 ㈱アイワード (011)241-9341

広告取扱 ㈱東 広 社 (03)3409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan.

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は㈱医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】(㈱)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(㈱)出版者著作権管理機構

(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

医学書院ホームページ(インターネット)はhttp://www.igaku-shoin.co.jpです。

(担当 山本・井上・能藤)